

話題の新刊 おすすめの本

世界の祝祭日とお菓子

高野 麻結子 作



昔からの伝統や文化に培われてきた特別な日に食する特別な食べ物。それは、ぜひ次の世代へ伝えていきたいもののひとつです。世界の食文化を巡りつつ、記念日にふるまうお菓子をまとめたもの。

りっぱなおおかみになりたい屋

中島 和子 作



りっぱなおおかみになるために、なにか仕事をしようと考えたおおかみくん。コロッケ屋さんや花屋さん…いろいろやってみました。なかなかうまくいきません。さて、おおかみくんはどうするのでしょうか？

世界のなかで、ひとりと いっぴき

高山 栄子 作



授業や給食、休み時間や友だちのことなど学校での出来事にくたびれてしまった。でも、犬のペロだけは何かあって味方になってくれる。少しずつ成長していく主人公の姿がよく描かれている。

図書館へでかけよう。

【休館日】 2 / 4 (月) 11 (祝) 18 (月) 25 (月)
【月末整理】 29 (金)

★おはなしキャラバン
9 (土) 中央公民館 10時～11時



その他 おすすめの本

一般向き

- ◆ 中学英語で日本の行事が紹介できる (藤井 亮蔵、大原 正幸)
- ◆ 日英蘭奇跡の出会い (鶴亀 彰)
- ◆ 生き物の持ち方大全 (松橋 利光、神谷 圭介)
- ◆ 熟年介護日誌 (小林 弘忠)
- ◆ アジアの現代文芸 (丹羽 京子)

児童向き

- ◆ ゆけゆけ！あずきひめ (小豆丸 なお美)
- ◆ ももいろ荘の福子さん (村上 しいこ)
- ◆ ももんちゃん (とよた かずひこ)
- ◆ ウォーリアーズ (エリン・ハンター)
- ◆ 漢字とことば (山田 繁雄)

過程が大事

話では、日本人は、「勝った？負けた？」「何番だった？」と試合や競技の結果だけを尋ね、アメリカ人は試合の経過や経緯を聞く。イギリス人は、試合や競技に臨む前の練習方法を問う。

バルセロナオリンピックで銀メダル、続くアトランタで銅メダルを取った有森裕子さん(1966年生まれ)をご存知と思います。その時の「自分で自分を誉めて遣りたい」という言葉は有名です。そうですね。1990年大阪国際女子マラソンでは、優勝したポルトガルのロザ・モタと走り、翌年はドイツのカトリン・ドーレと大阪城内を走り抜けた人です。ロザ・モタ選手は有森裕子さんを尊敬するランナーの一人に挙げています。有森さんは、ロシアのエゴロフ選手に練習方法を聞いたということも伝わっています。ところで、「人は差別する動物である」と言われています。私は「人権問題」に関心をもち、学び続けます。

中島弘之

人権教育 130
ともに生きる

市民文芸

《麦の芽短歌会 多久麦の芽互選》

夢でなくG線上のアリア聞く
身近なコンサートに没我のひととき
福泉の寺にも詣らず唯一人 迎 寿代

白き頭で日向ぼこする
師の短歌の沁みくる碑前にたたずめば
千の風吹き春の温もり 小池千恵子

南天のつばら実赤く色つきぬ 本村 則子
おろおろと生きたる年の終りに

立像の乙女が掲ぐ振り時計 内田 龍子
吾の余白を刻みつくる 阿部 睦美

《諧樹句会 諧樹句会互選》

約束の一事忘る日短か 不二見恵美子

恙なきことのみでよし年の暮 松尾 孤状

渡り鳥安らぐ海の葦そよぐ 大坪 蒙仁

美しく老いたし冬の帽子編む 今泉 節子

万両の実も愛らしく童子仏 山口 秋子

《多久川柳会 西山残月選》

傾いてボールころげるうちの家 昭子

人間にブレーキ効かぬ温暖化 修

時々心は水をさしている まつよ

連敗を抜けて一献傾ける 正喜

花ならば満開でしょう健康美 ユキ